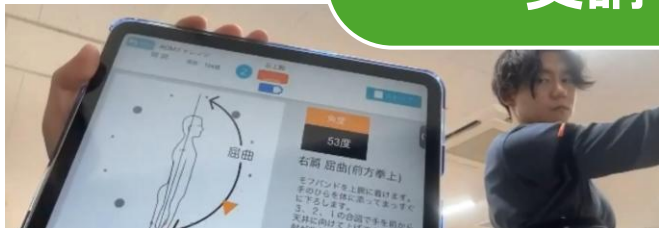


健康リテラシー講座



受講者募集



- 開講期間：2025年11月～2025年12月
- 形式：オンデマンド・オンライン開講
- 対象：高齢者医療・福祉・介護に興味のある方全般
- 受講料：30,000円（税込）

▷講義内容

高齢者の心身機能変化とケア（介護・福祉総論、身体機能・精神心理機能変化と検査及び予防）およびウェルビーイングの理解，ウェアラブル端末の活用（Dx手段），統計実践方法について学修します。

※非医療職の方の受講を想定してコンテンツを作成しています

健康リテラシーと共にDx手段および数理解析力を
習得することで、地域で必要とされる新しいサービス・
制度を創り出す力を身につけることを目指します



お申し込み・お問い合わせの際には下記連絡先にご連絡をお願いします

神戸大学大学院保健学研究科 担当者：山田 TEL：078-796-4504

Mail：kyoumu@ams.kobe-u.ac.jp

「健康リテラシー講座」

受講生募集要領

I. はじめに

神戸大学大学院保健学研究科では、高齢化が進む地域社会を支えるための新しい知識と技術を学べるプログラムを開講します。このプログラムでは、医療や介護の専門外の方が、高齢者ケアの専門知識に加え、ウェアラブル端末を活用した新しい支援方法や効果を検証するデータ分析法を学び、ヘルスリテラシーを高めるとともに、地域に貢献する力を身につけることを目指します。

II. 学修内容

介護・福祉総論，ウェルビーイングの理解，高齢者の心身機能変化（検査および予防），ウェアラブル端末の活用（Dx 手段），統計実践方法

*別紙講義スケジュールを参照してください。 *受講後修了証を発行します。

III. 対象

高齢者医療・福祉・介護に興味のある方全般

IV. 受講形態と受講期間

オンデマンド講義（7 コマ），オンライン講義（1 コマ），確認テストとアンケート

*1 コマ最長 1.5h 予定。 *Web システムから受講していただきます。

2025 年 11 月～12 月（11 月 10 日開講予定）

V. 受講料

30,000 円（税込）

*お支払い方法は申込後にご案内します。

VI. 申込受付期間

2025 年 9 月 29 日（月）～ 10 月 31 日（金）

*申込者多数の場合、受付を早期に締め切る場合がございます。

VII. 申込・お問い合わせ

申込にあたっては、別添の受講申込書に必要事項を記入し、PDF で下記に電子メールにてお送り下さい。

神戸大学大学院保健学研究科 担当者：山田

電話番号：078-796-4504 E-mail：kyoumu@ams.kobe-u.ac.jp

令和7年度 神戸大学大学院保健学研究科
「健康リテラシー講座」

受講申込書

氏名（漢字）	
氏名（ふりがな）	
勤務先名	
所属	
連絡先	TEL : E-mail :
受講目的	
その他（要望事項等があれば ご記入ください）	

神戸大学保健学研究科健康リテラシー講座 カリキュラムと日程

講義	受講方法	講演テーマ	講師	内容
第1回	受講システムにて各自で視聴 *2025年11月10日開講予定	高齢者の介護・福祉総論	グライナー教授	現在の高齢者支援について、公的サービスと非公的サービスの構造、および各サービスの内容と意義、利用方法を学修する。
第2回	受講システムにて各自で視聴	ウェルビーイングって何だろう？	園田准教授	地域共生社会の鍵となるウェルビーイングについて学修する。
第3回	受講システムにて各自で視聴	高齢者における身体機能変化と検査	前重准教授	フレイル、特にサルコペニアや創傷などの高齢者の身体機能低下の特徴とその検査・測定方法、基本的なケア指針について学修する。
第4回	受講システムにて各自で視聴	高齢者における精神・心理機能変化と検査	園田准教授	認知症、うつ、痛みなどの身体機能低下の特徴とその検査・測定方法を学修する。
第5回	受講システムにて各自で視聴	高齢者のための予防・ケア手段	古和教授	認知症、フレイルなどの高齢者の心身機能低下を予防・改善する手段を学修する。
第6回	受講システムにて各自で視聴	ウェアラブル端末によるDx	中山助教	スマートウォッチ等のウェアラブル端末で身体機能、生活活動情報を収集し、把握する手段を学修する。
第7回	受講システムにて各自で視聴	統計学基礎・実践	前重准教授	健康関連データを分析するための基礎を学び、統計フリーソフトによる解析を実践する。
第8回	オンラインライブ 2025年12月23日18時30分開始予定	ディスカッション	実行委員	オンデマンド講義の理解・習得状況の確認および質疑応答を行う。さらに、受講者、地域の今後の課題について討議する。
終了後	受講システムにて各自で受講	確認テスト、アンケート	実行委員	試験により、学修の理解度を評価する。